

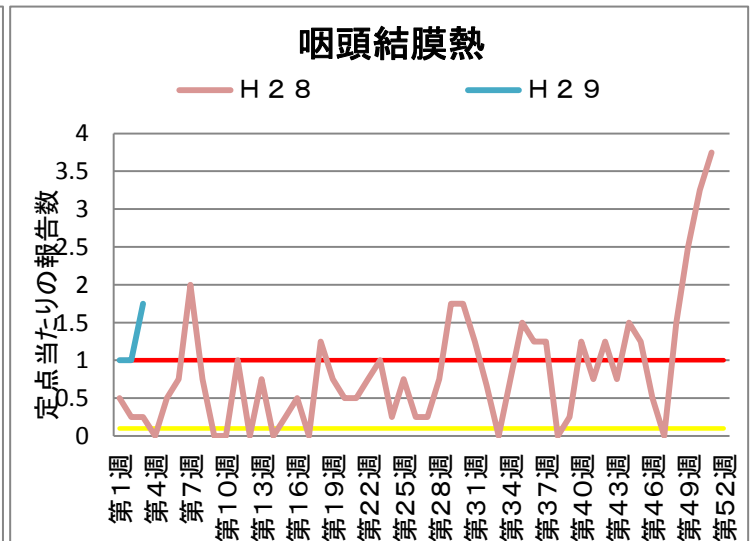
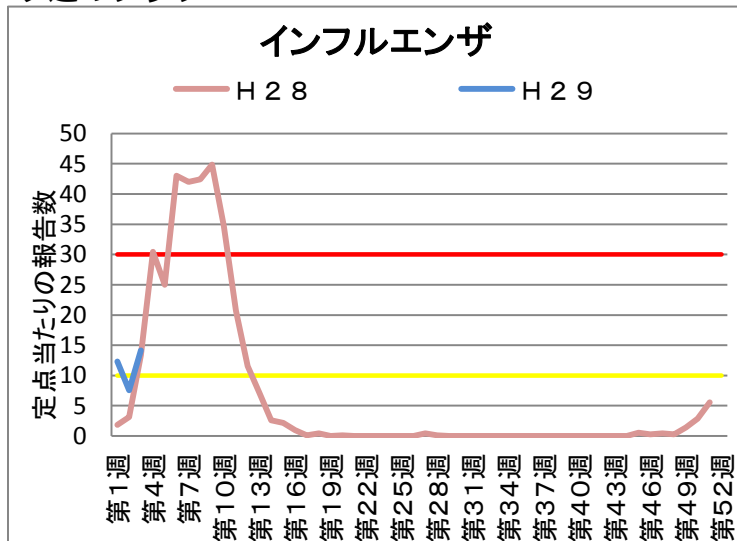
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 3 週 平成29年1月16日 ~ 平成29年1月22日

今週のコメント

- インフルエンザの報告は再上昇し、注意報レベルになっています(定点あたり14.14)。
- インフルエンザの流行は、1月下旬から2月をピークとして広がります。これから、ピークとなる時期に向けて、流行の拡大を防ぎましょう。感染を予防するために手洗いを心がけ、咳症状がある時はマスクをしましょう。
- 高齢者や持病のある方は重症化してしまふことがあります。インフルエンザが疑われる症状のある方は、病院へのお見舞いや高齢者施設などの訪問を自粛しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	14.14	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	0.25	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	1.75	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	8.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.25

定点当りの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

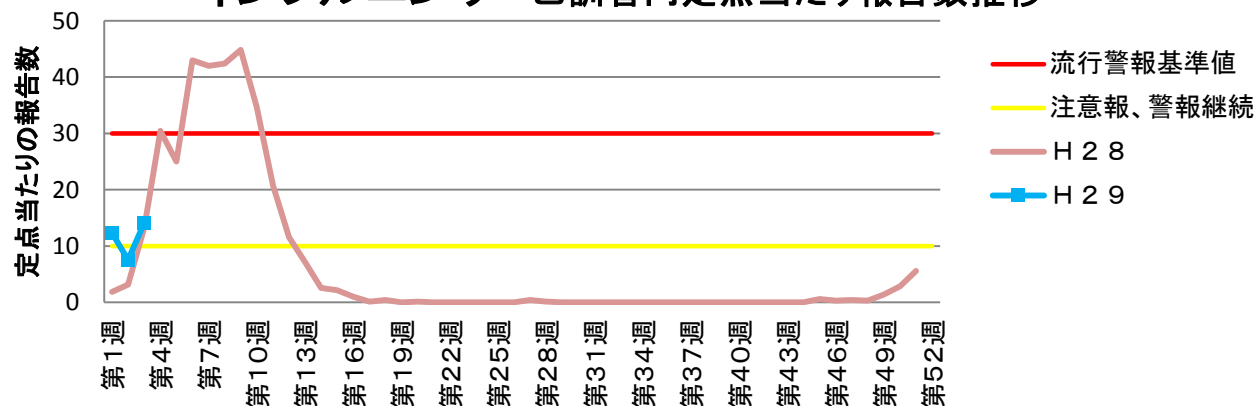
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

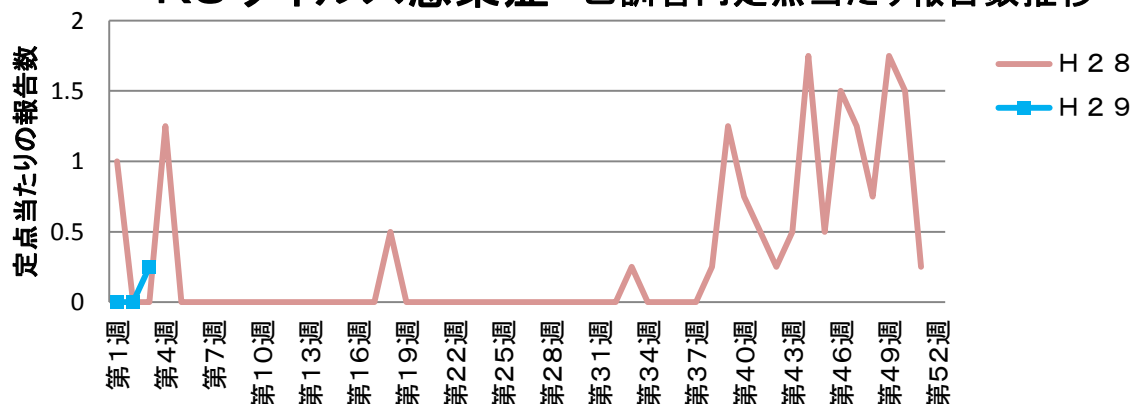
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

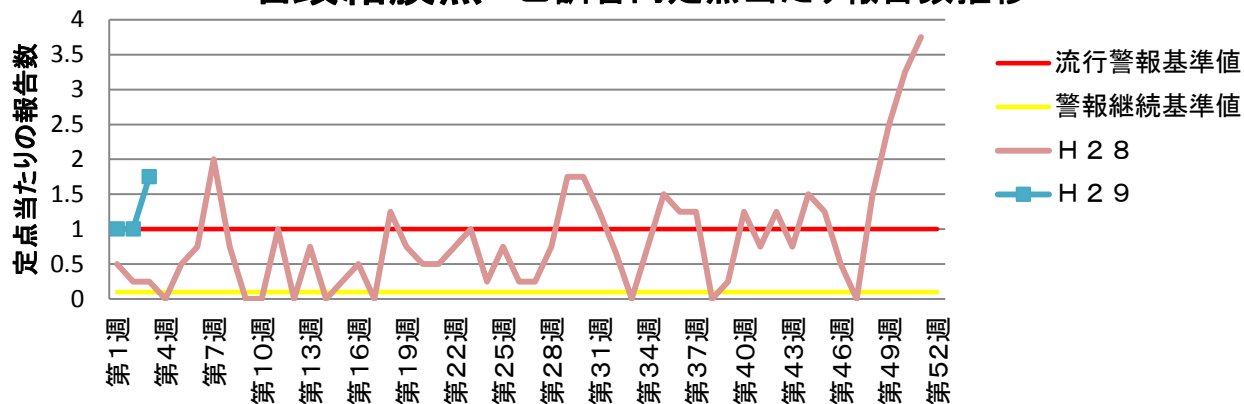
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



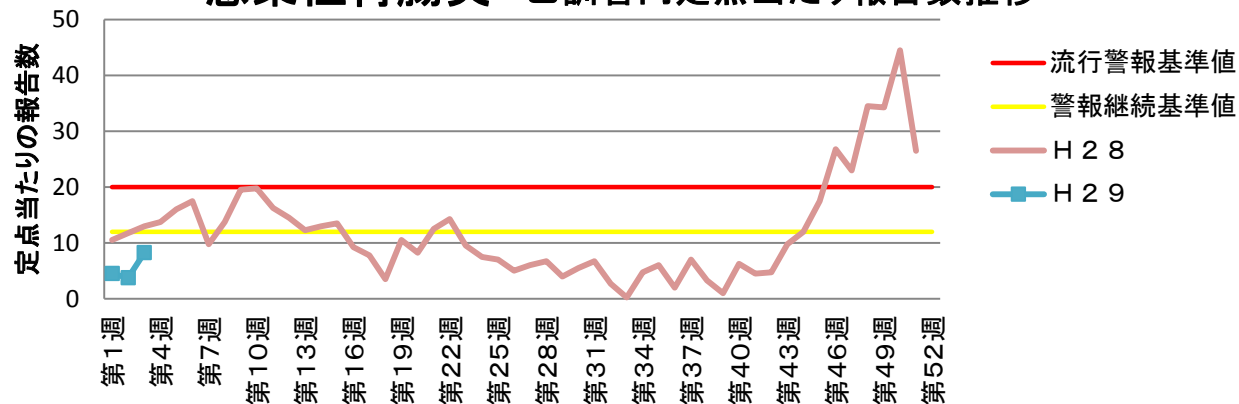
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



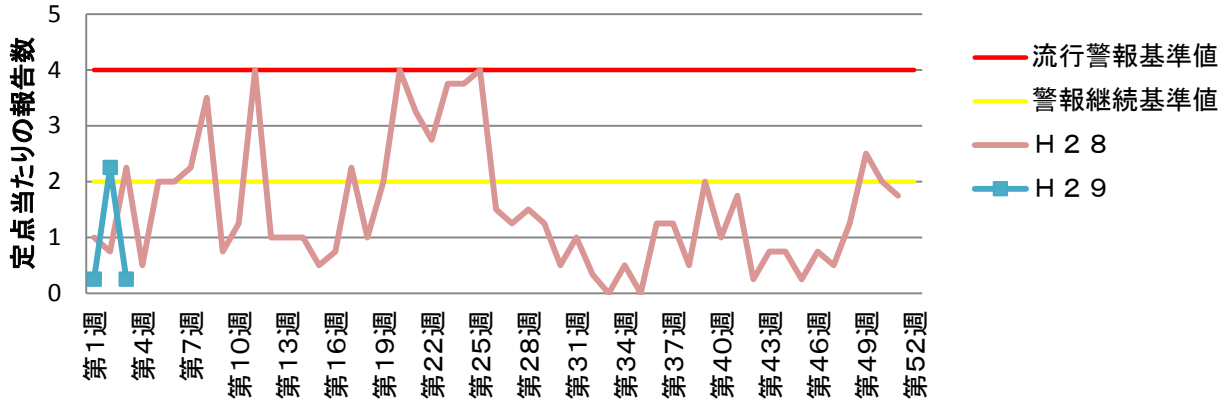
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



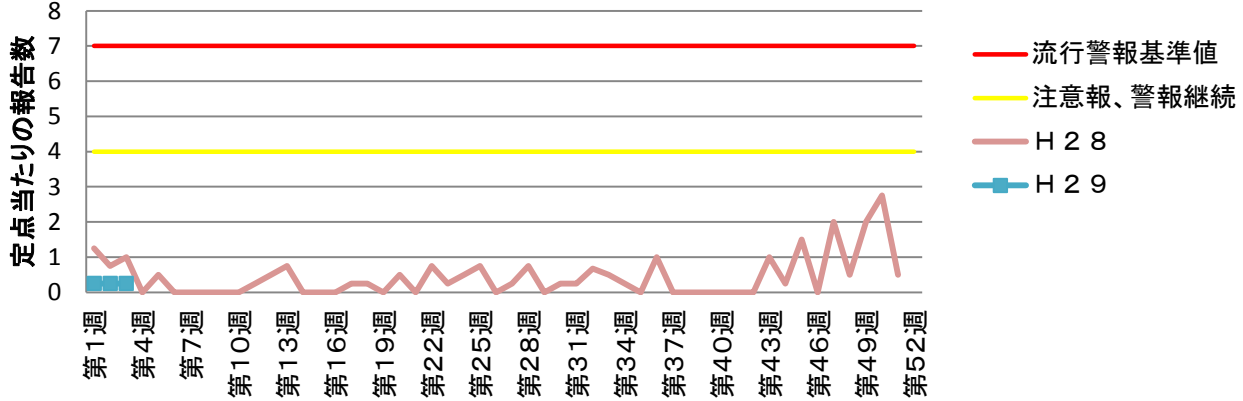
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



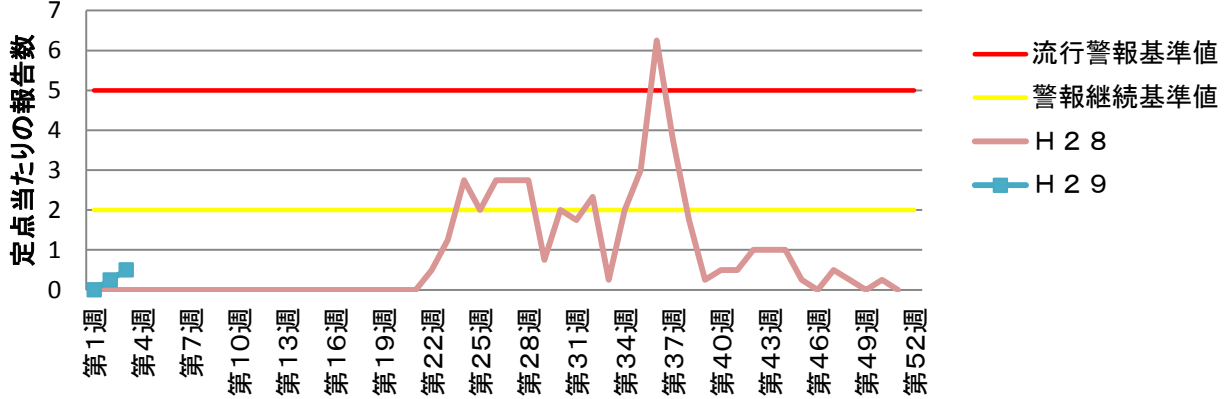
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



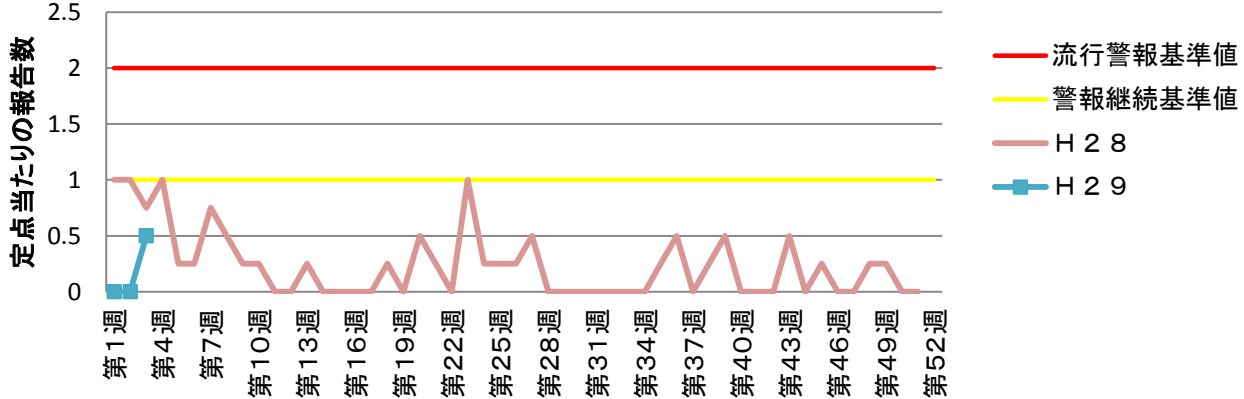
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



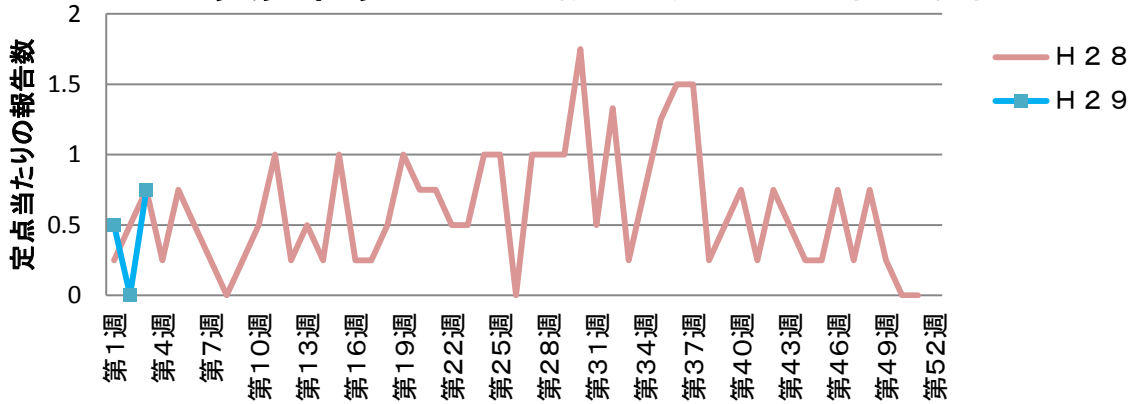
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



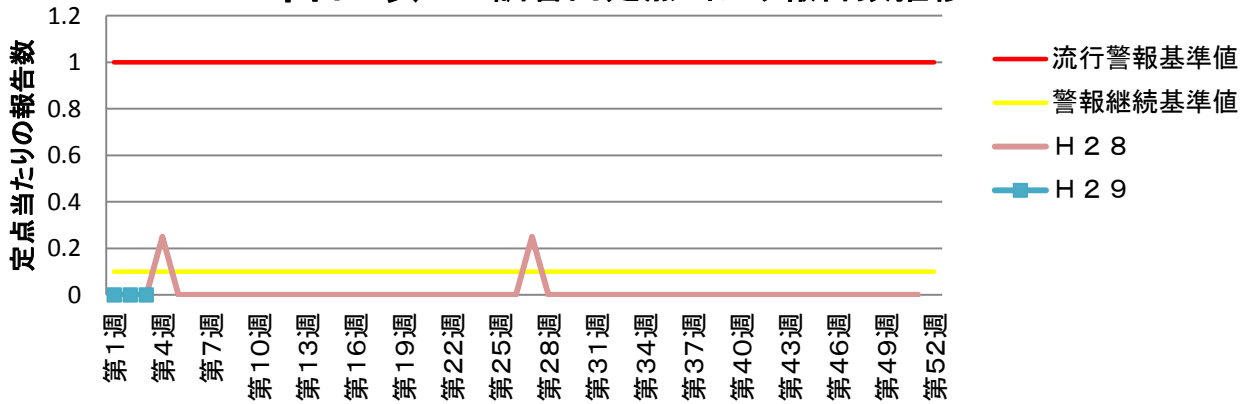
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



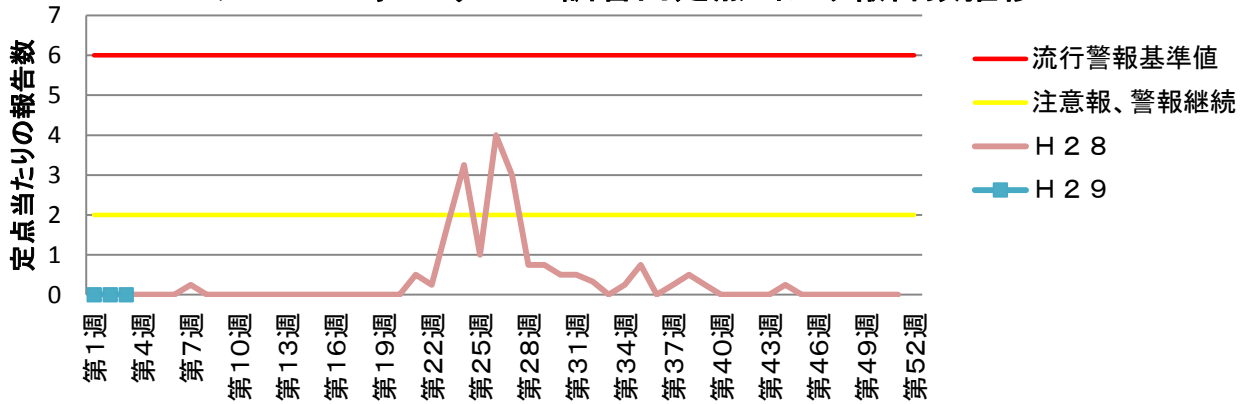
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

